



アダプト通信

VOL.36

アダプトとは…

英語で「養子縁組をする」という意味。住民や企業などが主体となって清掃・緑化などの美化活動を中心に公共空間を「わが子のように面倒を見る」手法として制度化されたものです。

NPO 法人ひろしまアダプトは、広島県内の道路・河川等あらゆる土木公共施設を対象としたアダプト活動を支援し、行政機関との連携を図りながら、行政と住民・民間団体の協働による公共施設の適切な保全及び環境保全並びに公共施設の環境水準の促進等を図るとともに、その活動を通して地域の活性化に寄与することを目的として、提案や活動を行っています。

2026年3月31日発行 第36号
発行／NPO法人ひろしまアダプト
広島市中区紙屋町1丁目1-17
TEL (082)240-0768 FAX (082)248-7565
https://www.hiroshima-adopt.com

第26回環境美化教育

優良校等表彰を実施 公益社団法人 食品容器環境美化協会

食品容器環境美化協会（食環協）は、食品容器の散乱防止等の啓発をしている公益社団法人です。事業の環としてアダプト・プログラム助成や、環境美化教育優良校等表彰を行っています。



最優秀校表彰の様子(2026年1月30日浅草ビューホテル)

環境美化教育優良校等表彰事業は、環境美化教育に独創的、継続的に取り組み、公共の場所の美化、飲料空き容器などのリサイクルを実施している小中学校などを、都道府県の推薦に基づき表彰しているものです。第26回となる今年度は33の都道府県から33校の推薦をいただき、最優秀校4校、優秀校6校、優良校23校を選定し、表彰いたしました。



「のんだあとにはリサイクル」の促進を目的として1984年採用、使用することが法律で義務付けられたマークではありますが、テレビ・新聞・雑誌広告・啓発用パンフレットなどに使用され、散乱防止を象徴するマークとして広く浸透しています。

最優秀校のご紹介

- 宮城県・南三陸町立名足小学校
- 文部科学大臣賞
- 農林水産大臣賞
- 鹿児島県・阿久根市立臨本小学校
- 環境大臣賞
- 新潟県・長岡市立寺泊小学校
- 特別賞 協会会長賞
- 沖繩県・伊平屋村立伊平屋中学校

●食環境のホームページでは、環境美化教育優良校の表彰について掲載しています。

●YouTubeでは環境美化教育最優秀校の紹介動画等をアップしています。



江田島市からのお知らせ



江田島市では、現在子どもから大人まで市内各地の40団体の方々が、清掃や草刈等の活動を行っています。これからも、より多くの皆さんの参加をお待ちしております。

江田島市アダプト制度とは？

江田島市が管理している道路などで、学校や企業、地域の皆さんに清掃や緑化等の活動を行っていただき、江田島市がそれを支援する制度

団体登録の要件は？

- 地域住民や地域の企業などにより、3名以上で構成されていること
- 活動が営利目的で行われるものでないこと など

どんな支援を受けられるの？

- アダプト活動に係る関係保険の加入
- アダプト活動に対する奨励金の交付
- アダプトサイン（表示板）の設置



お問合せ 土木建築部 建設課 管理用地係
TEL 0823-43-1646

広島県からのお知らせ

令和8年度の変更点

変更点

《草刈機購入奨励金について》

●令和8年度は、過去に一度も当該奨励金の交付を受けたことがない団体が1台のみ申請することができます。（令和9年度からは廃止になります。）

《飲食代について》

●令和8年度から弁当も奨励金の対象とします。また、一人当たり600円（税抜）を超える弁当等については、600円を超えた差額を各団体の自己負担とすることで奨励金の対象とします。

《奨励金の交付辞退時の連絡について》

●やむをえず、奨励金の交付を辞退されることになった場合の事務局への連絡は、書面により行うように変更します。

お問合せ 広島県土木建築局道路河川管理課
TEL 082-513-3903

2026年1月31日(土) 広島市東区民文化センター大会議室にて 2025年度アダプトフォーラムinひろしま 青少年活動コンテストが開催されました



2026年1月31日(土)、広島市東区民文化センター大会議室にて「青少年活動コンテスト」が開催されました。アダプト活動の志を多くの人に理解してもらい、活動のバトンをつないでくれる若い活動会員を応援したいという思いでスタートしたコンテストは、今年で14回目を数えます。このたびは広島県との包括協定に基づく官民協働の「青少年アダプト活動支援」として株式会社イズミ様、広島県、コカコーラ ボトラーズジャパン株式会社様、株式会社上垣組様、株式会社山陽建設様のご協賛、公益社団法人食品容器環境美化協会、NPO法人ひろしまアダプト法人会員の皆さまのご協力、広島県教育委員会、広島市教育委員会、中国新聞社のご後援をいただきました。当日は広島市や北広島町、福山市などから8団体が参加。コンテストの最後には活動団体に対する表彰も行われました。

ごあいさつ



広島県土木建築局道路河川管理課 梯 靖 参事

本日の発表を聞き、皆さんの中で地元愛や愛校心が育まれていることを感じました。広島県では若年層の県外流出が課題となっていますが、皆さんのような「地域に貢献する姿勢」が、解決の糸口になるかもしれません。これからも頑張ってください。県も皆さんを応援します。



公益社団法人食品容器環境美化協会 遠藤 順也 専務理事

私たちは「アダプト・プログラムの普及推進」に力を入れています。アダプト活動に取り組む自治体は増加傾向にありますが、若年層の参加は増えていません。私たちは現場の声を聞く機会が少ないため、今日の発表で学生や地域の皆さんの生の声を聞きかせていただきたいです。



NPO 法人ひろしまアダプト 大森 富士子 理事長

団体同士が連携し、取り組みの輪が広がることを願ってコンテストを継続しています。私たちは広島を愛している人たちと一緒に行動し、広島をきれいにしていきたいと思っています。今日の発表を聞いて、多くのことを感じ、気づきを得てください。

温品川のキレイな水を守っているで賞

ぬくしな桜の会は2000年にプレミアム記念としてできた団体です。岩谷観音の桜植樹から始動し、4年後にはラブリバ制度の認定を受けました。その後、子どもたちの遊び場として温品川を整備しましたが、小学校は川遊びを禁止していたのです。そこで学校から許可をもらい年に2回、生き物観察会を実施。メンバーは見守り隊として一緒に参

ぬくしな桜の会と温品小学校



加しました。小学生からは特別な場所に入れた喜びの声や、きれいな川を維持するために「ゴミを捨てない」という決意の声も聞かれました。下流部分には堆積砂があり、ピオトープや遊歩道的な整備予定です。その他には、メンバーが桜の会の活動をYouTubeでPR。地域に理解していただきながら活動を進めていきます。

森の再生活動で、林業のいまを考えているで賞

一般社団法人森林再生整備事業体シンラは創生事業の一環として、三原市の「につせぎの森」で植樹祭を開催しています。植樹祭では成長が早い針葉樹「コウヨウザン」を植えます。初めての体験で「元気に育つてね」と声をかける子どもたちの姿や、自分の手で森をつくるというような誇らしげな表情も見られました。まさに木を植えるだけではなく、

一般社団法人 森林再生整備事業体シンラ



心の教育も感じられた瞬間です。イベントの1つとして災害用非常食の試食や、桜の小枝を活用した世界で一つの鉛筆づくりなどを実施。子どもたちは防災・木育について学びました。他には国際交流イベントを開き、ネパールから高校生2名が参加。お互いの国の森林事情や文化・環境問題を共有し親睦を深めました。

一人一人が地元を愛し、盛り上げているで賞

千代田高校は千代田地区の中心となる道路で清掃活動を行っています。今年度は延べ111人が参加し、安全に気をつけながら国道261号線のゴミを拾いました。落ちていたゴミの中には、たばこの吸い殻やガラスの破片があり、通行人が怪我をしないか心配になります。また、小学生・高校生と地域の人が合同で行う清掃活動も実施しました。

広島県立千代田高等学校



学生が利用する通学路をクラスごとに分担し、高校を中心に東西南北へ展開。幅広い年齢の人と関わることで、地域の美化活動には多世代が協力していくことが重要だと思われました。地域の人や北広島町を訪れる人に「この地域に住み続けたい」「戻ってきたい」「また来たい」と思ってもらえるような町にしていきたいです。

クリーンキャンペーンで地元を恩返ししているで賞

広島市立大学が清掃活動を始めたきっかけは学生たちが「オープンキャンパス前に校内をきれいにしておきたい」という思いからです。今年度は広島市立大学周辺の道路をクリーンキャンペーン活動として清掃を行いました。参加者は約140名が集まり、年々人数が増加しています。作業をしながら道路をゆつくり歩くことで、地域

広島市立大学 学生支援室



の新たな面白さ・興味・課題の発見ができます。大学はこの活動を通して、当事者意識が芽生えたり、地元を大切にしたいという機会であると考えています。学生には、まずは楽しみながらゴミを拾い地域社会との接点を持つてほしいです。地域の新しい遊び場・学び場を見つけることが、地域貢献や地域活性化につながるようになります。



青少年活動コンテスト発表内容紹介



当日の発表内容は
こちらから！

福山グリーンラインの緑と環境を守っているで賞

NPO法人グリーンラインを愛する会は、働き盛り世代が社会貢献活動に参加すること、行政や企業・ボランティア団体でも対応しきれない問題を解決することを目的とした団体です。当法人は、助成金や寄付金・個人の資金で事業を行うため早急な対応が可能。2025年にはイノシシの被害から公園と利用者を守るため、広島県立後山公園の周囲約

NPO 法人 グリーンラインを愛する会



700mに「イノシシ侵入抑止フェンス」を設置。被害が減少し、来園者の利便性が一新されました。また、道路用地を公園として整備・管理もしています。来年度は河津桜の周りに菜の花の花壇を造設予定。訪れる人の憩いの場となるでしょう。今後も行政が対応しにくい課題を代行・連携して解決していきます。

季節の移り変わりを花で伝えているで賞

私たち日本文化部は、茶道・花活け・園芸アダプトの3つの活動を行っています。茶道は週2回、上田宗簡流を学んでいます。花活けでは、「花いけバトル」の全国大会出場を目指して練習しています。園芸アダプト活動は、清掃と花の普及活動です。八幡川沿いに季節ごとの花を植えて育て、ゴミ拾いにも励みました。地域の人の気持ちが見えなくなるように美しい景観

広島工業大学高等学校 日本文化部



にしたいです。3つの活動を両立させるのは大変ですが、地域の人々から温かい言葉をかけていただいたり、喜んでくれる姿を見るとやりがいを感じます。部員同士でコミュニケーションをとりながら、「街をきれいにする」「花の魅力をいろんな人に知ってもらおう」という目標に向かって一生懸命頑張っています。

宮島が学生ボランティアの力で輝いているで賞

安田女子大学には「ボランティア活動」という科目があります。私たちは授業の一環として宮島で清掃を実施。当日は85名の学生が宮島棧橋から弥山の頂上までのゴミ拾いをしました。商店街では食品ゴミが多く、弥山の登山道では登山者がいるのにも関わらずゴミが少なかつたです。登山マナーや自然を大切にしようとする意識が地域の美観を支えていると痛感。

安田女子大学



今回の活動を通して地域の環境美化の問題を身近な課題として再認識しました。さらに、大学の最寄り駅で手すりや窓の拭き掃除も行いました。利用者が快適に過ごせるようにするために、定期的な掃除は大切です。ボランティアは特別なことをするよりも、まずは行動を起こすことが大事だと考えています。

里山を再生し、学びの場を提供しているで賞

生活デザイン・工学研究所は、マツダ株式会社に限界集落の消滅が進む中山間地域を活性化させるために立ち上げた団体。活動拠点は東広島市福富町で、移住者が多い地域ですが人口は減少傾向にあります。子供たちは学校統廃合の影響で友達の家が遠方になり、遊びに行くことが困難。この課題解決のために「里山チャレンジプラットフォーム」活動を展

生活デザイン・工学研究所



開しました。町内の里山で遊べるようにツリーハウスを新設。研究所(福富支所)には子どもの居場所となる「第三の学びの場」も設置しました。2026年後半には廃校を再利用した「福富みらいベース」が完成予定。「福富みらいベース」ではものづくりができる工房や、地域の人と交流ができるスペースなども設けられます。